

公明党
堀 重雄

集客・交流事業の推進について

【質問】 菜の花まつり、ワイン×ワインフェスタやアジア初の開催となる2018電動模型航空機世界選手権in滝川などで経済効果を高めるためのこれからの取り組みについて伺う。

【答弁】 市最大のイベントである菜の花まつりをはじめとする各種イベントには、これまでと同様メディアに対する訴求やツアー会社などへのプロモーションを行い、外客誘致を推進しています。

また、経済効果を高めるため、市内の飲食店や土産物店の情報発信、イベント開催の時間や会場を工夫するなど訪れた方々に消費活動を行ってもらえるよう誘客に取り組んでいます。

なお、電動模型航空機世界選手権においては、参加者の宿泊が延べ1,350日見込まれ相当な経済効果が期待されるため、成功に向けて取り組んでいきます。

地域福祉・自立支援の充実について

【質問】 第7期滝川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画がスタートするが、介護予防の取り組みを推進するためいきいき百歳体操やいきいきポイント事業の推進が必要と思うが、見解を伺う。

【答弁】 第7期滝川市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画における介護予防の取り組みは、重点目標の一つとして介護予防の取り組みの推進を掲げています。市としていきいき百歳体操や支えあい・いきいきポイント事業の取り組みをより一層推進していきます。具体的には、平成30年度から介護予防推進員を配置し、町内会、老人クラブの協力をお願いして地域における介護予防拠点・住民の通いの場としてのいきいき百歳体操教室の開催地区の拡大、参加者の増加などの取り組みとともに、29年度から実施している支えあい・いきいきポイント事業についても、参加意欲の向上を図るための制度の見直しを行い、介護予防の推進に取り組めます。

事務などの効率化について

【質問】 市長の基本的な考え方にあるように前例にとらわれない発想が必要である。今までの事務作業内容を素直に受け継ぐのも大事だが、さらに簡明・簡便のため業務改善を目指す職員の意識向上が重要と考える。そのためには、市長のリーダーシップが必要だが、市長の見解を伺う。

【答弁】 職員の意識向上や業務改善の推進には、職員が新しい発想や意見の言いやすい職場環境が重要と考えています。そのため常日頃から職員に対し、トップダウンではなくボトムアップ式の政策提言をするように話しており、年頭の訓示においては、過去にこだわることなく先見の明を持って仕事に当たるよう伝えていきます。今後においても、職員に対し積極的にコミュニケーションをとり、意見をしっかりと受け止め、風通しのよい市役所になるよう職員の意識向上・業務改善を推進していきます。

学校教育について

【質問】 文部科学省の今後の学校教育

育の在り方で、「生きる力の育成を基本とし、知識と教え込む教育から子供たちが、自ら学び、自ら考える教育への転換を目指す。」とあるが、本市の取り組みを伺う。

【答弁】 加速度を増す社会変化の中で、予測困難な未来を生き抜くために、主体的に物事に向き合い、よりよい社会と幸福な人生のつくり手となる力を身に付けさせることは、教育の喫緊の課題です。子どもたちにこれからの時代に求められる資質・能力を育成するため、平成32年度から完全実施となる新学習指導要領では、主体的、対話的で深い学びの実現が示されています。

本市においては授業の冒頭で課題を明示し、理解したり、解決すべき課題をしっかりと把握させる活動、少人数または集団で、子どもたちが協働して主体的に課題解決を図る活動、授業を通して子どもたちが習得すべき知識や技能を確実に身に付けたかを確かめる活動、子ども自身が授業を通して何ができ、何が分かったのか、みずからの学びの跡を振り返る活動などに取り組めます。